

落葉でかぶとむし飼育



所要時間	1～2時間
対象学年	小学生 中・高学年
活動時期	9月下旬 ～10月上旬
関連事項	どんぐりの木

～概要～

理科センターで飼育しているカブトムシの卵を観察することができます。たくさんの卵を産むので、分けてやることも可能です。秋に裏庭にあるどんぐり木の落ち葉はよく乾かすと腐葉土になり、栽培やカブトムシの飼育マットとして使えます。これらを採集しておいて、年間を通してカブトムシの飼育環境を整え、カブトムシの一生を観察してみましよう。

妙高市理科教育センター

1 活動のねらい

- ・ドングリや木の葉を集めて腐葉土にして、カブトムシを飼育して、昆虫の一生について観察しよう。
- ・ドングリの実や葉は、虫や動物のエサになり、土に返っていくなど自然の中で循環していることを知る。

2 活動場所

- ・わくわくランド裏庭

3 準備品

- ・団体・個人で用意するもの⇒・観察ノート、
・筆記用具、飼育容器、葉を入れるビニール袋、軍手、デジカメなど
- ・理科センターにあるもの
・虫眼鏡（ルーペ）、双眼実体顕微鏡



カブトムシのふ化に近い卵

4 活動の手順

活動内容	
はじめ	<p>① 今頃（9月下旬）カブトムシはどのようなになっているか予想する。 ・理科センターで飼育しているので卵を採集できることを伝える。</p> <p>② 話し合っ活動のめあてを確認する。 ・卵から成虫になるまで育てるためには、どのようにすればよいか見通しをもたせる。</p>
活動	<p>① オスは交尾が終わると死んでしまうが、メスは腐葉土の中にもぐって産卵する。メスが死んだら、飼育ケース内のおがくずをそっと新聞紙の上に広げ、直径2～3mmの白色の卵を探す。カブトムシの卵を、虫めがねを使って観察し記録する。 ・ペトリ皿などに班に2～4個の卵を入れて観察させる。</p> <p>② 腐葉土が必要なことを知り、ドングリの木の葉を集める。 ・最初は市販の腐葉土を使い、その上に、裏庭からどングリの木の葉（コナラ、ミズナラ、クヌギ）の枯葉を採集してきて、余ったものはビニール袋に入れて保管しておく。</p> <p>③ これからの世話の仕方を調べて見通しをもつ。 ・その後、いつ頃、どのように育っていくのか予想して、成長に合わせてどのような準備をしていったらよいか話し合う。 ・カブトムシ飼育容器、 ・双眼実体けんび鏡 ・ピンセット ・参考図書や図鑑なども活用する。</p>
まとめ	<p>① 活動を振り返る。 ・カブトムシの卵を観察したり、飼育の準備をしたりして、初めて知ったことや、考えたことや思ったことを発表する。</p>